

2020年度(対象年度:2019年度)ピアレビュー報告書(案)

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
0101	全てがS評価であり留意点はない。文系学部の再編の一環として、新たに教育研究上の目的を策定しつつある[0101d]。
0102	2018年度のピアレビューで、学部・学科の教育研究上の目的の記述が媒体により異なることが指摘されていたが、その後、速やかに修正を進めている[0101a][0101b]。ただ、学科紹介パンフレット(冊子体)がまだ残っている学科についてはそれらを使い切るまでデジタルブックなどの内容変更ができないため、媒体によって記述が異なったままになっているとのことであった[0102c]。ただし、それぞれに対象者が異なる場合は、完全に記述を統一しなくても、内容的に齟齬がなければよいと考えられることから、許容範囲と判断した。
長所・特色	
0101	文系学部の再編の一環として、教育研究上の目的が新たに検討されている[0101d]。
0102	2018年度のピアレビューで、学部・学科の教育研究上の目的の記述が媒体により異なることが指摘されていたが、その後、速やかに修正を進めている[0101a][0101b]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
		特になし	

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203	自己点検・評価のピアレビュー委員会の指摘や全学的課題に基づき、教育研究機関としての質保証に取り組んでいる。学部内の学科相互で自己点検・評価報告書をピアレビューしており、高い水準で取り組んでいると判断した[0203c][0203d][0203e]。改善すべき点として、学部運営の適切性を評価してもら外部評価機関が見つからないとあるが、当面はピアレビュー委員会を学内外部評価とみなして、内部質保証システムを機能させてゆくことで良いと思われる。現在文系学部の再編が検討されているため、再編事業が完了したところで、外部評価機関を検討するのが適切かと考えた。
長所・特色	
0203	学部内の学科相互で自己点検・評価報告書をピアレビューしており、高い水準で取り組んでいる[0203c][0203d][0203e]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	h	【追加資料1】2018年度 改善報告書.pdf	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2018-2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準4	教育課程・学習成果（1）
-----	--------------

総評

- 0401 卒業認定・学位授与方針（DP）は、大学HP上の「情報公表」のページや『学生便覧』で広く公表されている。根拠資料としては、自己点検評価書には、2017年人文学部定例教授会において承認されたことを証明する根拠資料として[0401a]が引用されていたが、【追加資料2】「2016年度人文学部第10回定例教授会（マーカー付き）」の誤りであり、【追加資料2】のマークされた該当部分によって確認された。毎年の便覧更新の際に学科主任を中心とする学科の教務委員が点検していることを示す根拠資料は、提出された[0401a][0401b][0401c]のいずれにも発見できなかったが、【追加資料3】「2020学生便覧原稿確認依頼」によって教務支援課から各学科主任宛てに学生便覧の確認依頼状が発せられていることが確認でき、間接的に学科内で点検していることが確認できた。
- 0402 教育課程の編成・実施方針（CP）は、大学HP上の「情報公表」のページや『学生便覧』で広く公表されている。根拠資料としては、自己点検評価書には、2017年人文学部定例教授会において承認されたことを証明する根拠資料として[0401a]が引用されていたが、【追加資料2】「2016年度人文学部第10回定例教授会（マーカー付き）」の誤りであり、【追加資料2】のマークされた該当部分によって確認された。毎年の便覧更新の際に学科主任を中心とする学科の教務委員が点検していることを示す根拠資料は、提出された[0401a][0401b][0401c]のいずれにも発見できなかったが、【追加資料3】「2020学生便覧原稿確認依頼」によって教務支援課から各学科主任宛てに学生便覧の確認依頼状が発せられていることが確認でき、間接的に学科内で点検していることが確認できた。
- 0402 DPとCPの整合性については、策定の際に一貫性を持たせることに特に留意して作成され、DPの4領域の能力に対応させる形でCPにおいても4つの教育内容が立てられ、体系的に教育課程が編成されて『学生便覧』に明記されている。毎年の便覧改定の際に学科主任を中心とする学科の教務委員が点検している根拠資料としては、自己点検評価書には[0401c]が引用されていたが、この資料では確認できず、事前質問票への回答に添付されていた【追加資料3】「2020学生便覧原稿確認依頼」によって教務支援課から各学科主任宛てに学生便覧の確認依頼状が発せられていることが確認でき、間接的に学科内で点検していることが確認できた。
- 0402 コミュニケーション学科では、高校までの教科からは把握しにくい学問分野を扱うため、『学生便覧』で教育目的と具体的教育内容や科目群、教育課程のデザイン・コンセプトなどについて解説している[0402a]。
- 0403 教育課程の編成は、CPに沿って体系的に、かつ学習内容の順序性を考慮した科目ナンバリングに留意して科目が配置されている[0403a]。また、カリキュラムマップによってその体系が明示されている[0403b]。
- 0403 各学科の主任を中心とする教務委員が、翌年度の授業編成作業時に、各科目の「カリキュラムの中での位置付け」とDPに対応した「身につく基礎力」、単位制度の趣旨に沿った単位設定であること、選択／必修などの設定を確認している根拠資料として[0403d]が引用されていたが、[0403d]はシラバスのサンプルでありこの資料では確認できなかった。事前質問票への回答に添付されていた【追加資料4】「2019年度シラバス点検依頼」、【追加資料5】「2018年度12月_人文学部主任者会議事録」、【追加資料6】「カリキュラムの中での位置付けチェック要請例_心理学科」、【追加資料7】「身につく基礎力チェック要請_心理学科」によって、教務支援課から各学科主任宛てに学生便覧の確認依頼状が発せられていること等が確認でき、間接的に学科内で点検していることが確認できた。

長所・特色	
0402	コミュニケーション学科および歴史地理学科では、学科の特性に合わせた教育課程の編成がされている [0402a] [0402b]。
0403	英語英米文化学科では、学年進行に合わせた難易度設定によるカリキュラム体系化と科目配置がなされている [0403c]。
0403	心理学科では、公認心理師に対応したカリキュラム改編を行い、カリキュラムの体系化とカリキュラムマップが作成されている [0403a] [0403b] [0403f]。
0403	学生の卒業後の活躍の場を広げる公認資格として、各学科で資格等の取得可能な教職課程、学芸員課程、司書課程、日本語教員養成講座の充実を図っている [0403g]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401	d	【追加資料2】2016年度人文学部第10回定例教授会議事録.pdf	○
0402	c	【追加資料3】2020学生便覧原稿確認依頼.pdf	○
0403	i	【追加資料4】2019年度シラバス点検依頼.pdf	○
0403	j	【追加資料5】2018年度12月_人文学部主任者会議事録.pdf	○
0403	k	【追加資料6】カリキュラムの中での位置付けチェック要請例_心理学科.pdf	○
0403	l	【追加資料7】身につく基礎力チェック要請_心理学科.pdf	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2018-2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準4	教育課程・学習成果（2）
-----	--------------

総評	
0404	学部全体として各学期に履修登録単位数の上限を設けて『学生便覧』に明記している [0404a]。
0404	シラバスに「身につく基礎力」、「授業の趣旨（概要）」、「具体的達成目標」、「事前・事後学修（準備や課題）」を含む毎回の「授業計画」、「授業方法」、「成績の評価方法」、「成績の評価基準」が明記されている [0404b] [0404c]。また、第三者によるシラバス点検を実施し、授業主旨、授業計画（授業内容・事前事後の学修）、授業方法、評価方法などがDP・CPに基づく「カリキュラムの中での位置付け」とDPに対応した「身につく基礎力」などにふさわしいか否かを判断し、不備がある場合には科目担当者に修正を求めている [0404d] [0404e]。
0404	授業内容とシラバスとの整合性の確保に関しては、学期末に実施される学生による「授業評価」アンケートの集計結果や自由記述、教務モニター制度の学生意見等から間接的に検証しているが、改善については科目担当者の裁量に任せられている [0404f]。心理学科において、自己点検評価書には、カリキュラム等に則ってシラバスを作成していることを証明する根拠資料として [0404g] が引用されていたが、【追加資料 8】「公認心理師カリキュラム対応」によって科目の対応関係が確認できた。
0404	学生の主体的参加を促すために、アクティブラーニングの要素を多く取り入れた教育方法を実践することをCP（「教育方法の」項目）に定めており、各学科で対応が図られている [0404h] [0404i]。
0404	授業編成および管理運営に関して、全学共通教育科目などを中心に、授業形態や内容、必要設備に応じて受講者数の制限を設けている [0404l]。また、各学科では、授業形態や内容、受講者数の制限に関しては、大学HPの「情報公表」にある「中部大学 授業の開講数と受講者数」や毎年の授業編成の際に教務支援課から提供される科目ごとの受講者数一覧を参考に、学科主任を中心とする各学科の教務委員が検討し、適正であることを確認している [0404m] [0404n]。
0405	シラバスに掲げた「達成目標」に基づく「成績評価の方法」「成績評価の基準」に従って成績評価が実施されているかについて、概ね各教員の裁量に委ねられているが、成績評価に疑問がある場合には受講生が一定期間内に確認を願い出ることができる制度が設けられている [0405a]。
0405	成績評価方法の客観性・厳格性に関しては、「成績評価の方法」「成績評価の基準」に対してシラバスの第三者点検を実施し、確認している [0404d] [0404e] [0404i]。実際に客観的、かつ、厳格に成績評価が行われているかの組織的確認は、成績分布の著しい偏りなどを学科主任が確認していることがヒアリング時に確認できた。また、複数担当者による一部の学科の基幹必修科目などでは、担当者全員の成績を共有し、場合によってはクラス間の調整を行うなどして成績評価の客観性・厳格性を保っている [0405c] [0405d] [0405f] [0405g] [0405h]。
長所・特色	
0404	心理学科では、公認心理師科目については日本心理学会における公認心理師標準カリキュラム等に則ってシラバスを作成し、公認心理師となるうえで必要な授業内容を網羅していることを厳密に確認している。特に実習演習科目では、心理学に関する実験や調査、心理学のテーマや論文についての発表およびディスカッションという授業形態をとっており、学生の主体的参加が必須の授業として、1～3年次に渡って配置している [0404h] [0404i]。
0404	コミュニケーション学科では、OJT型の地域貢献活動ゼミ「文化情報デザイン・プロジェクトABCD」を設置してアクティブラーニングを促進している [0404k]。また、上級生による「履修ピア」制度を設けて履修関係の

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2018-2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準4	教育課程・学習成果（3）
-----	--------------

総評

- 0406 学生の学修成果に関する指標として、全学的に導入されている GPA (Grade Point Average) 制度を利用し、成果の確認及び学習指導に用いている [0406a]。
- 0406 学習成果に関する情報の把握と共有方法として、学生の出席状況、単位取得状況、各科目の成績、各学期の GPA 等が、中部大学教育支援ポータルサイト (Tora-Net portal) の「学修ポートフォリオ」に用意されており、指導教授は指導生の情報を常にチェックしている。一方、成績分布と試験放棄（登録と受験の差）については、科目単位では、毎年刊行される『教育・研究活動に関する実態資料』に掲載される各科目のデータで検証することができるが、学部学科全体での分布や放棄率は把握されていない [0406d]。
- 0406 学生の学修成果に関する状況について把握し、今後の教育内容を検討する資料とすることを主目的として全学的に3年に1度実施されている「学修成果に関する調査」（2019年度に第3回、人文学部回答率 41.8%）の調査結果を利用して、成果の確認に努めている [0406e]。
- 0407 授業内容及び方法の適切性について、学科ごとに、教育課程変更申請時期や授業編成時期に学科会議において『2018年度教育・研究等に関する実態資料』等を参考に、DP・CPに則した教育活動が実施されているかどうかを確認して、教育課程およびその内容、方法の適切性について適宜点検・評価を行い、必要に応じて改訂等を教務委員会に申請している [0407b] [0407c]。
- 0407 人文学部主任会で作成する「学部等重点事業計画」を受けて各学科会議で審議し、必要な措置を講じて目標達成に向けて努力している [0407e]。

長所・特色

- 0406 各学科で学習成果の集大成である卒業研究の評価方法について検討し、評価基準となるルーブリック等を作成して活用している [0406f]。英語英米文化学科では、TOEIC を定期的 to 実施することで、学生の学習成果を客観的に測定・把握・評価し、その結果を蓄積・分析して習熟度別クラス分けに活用 [0406g]。卒業生から「人文学部でよかった?！」というテーマで教育課程や学習成果に関する評価をフィードバックとして活用している [0406h]。
- 0407 授業内容及び方法の適切性について、学科ごとに、教育課程変更申請時期や授業編成時期に学科会議において『2018年度教育・研究等に関する実態資料』等を参考に、DP・CPに則した教育活動が実施されているかどうかを確認して、教育課程およびその内容、方法の適切性について適宜点検・評価を行い、必要に応じて改訂等を教務委員会に申請している [0407b] [0407c]。

留意点

- *各項に留意点レベルを記入
- 【A】・・・緊急の改善を要する事項
- 【B】・・・検討を要する事項

特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	i	【追加資料 10】 2019 年度人文学部第 12 回教授会議事録. pdf	○
0407	g	【追加資料 11】 「2017 年度学修成果に関する調査」 結果報告書. pdf	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準5	学生の受け入れ
-----	---------

総評	
0501	全てがS評価であり留意点はない。入学センターへの接触者にニュースレターを送付するなどしており、求める学生像を興味深く知らせる試みは大変参考になる[0504b]。
0502	評価はSまたはA評価と高い。併設校に積極的に働きかけ、各学科の教育内容に合う生徒を推薦してもらう取り組みは、高大連携の模範となると判断した[0502i][0504c]。一方、特技推薦、A0ポートフォリオ入試については、一部で基礎学力不足の者も見受けられるため、能力・適性等をより適切に測る選抜方法を継続的に検討する必要がある[0502c]。
0503	評価はAと高い。指定校推薦の基準の見直しを積極的に進めつつあるとのことなので、今後の改善が期待される[0502b]。
0504	評価はAと高い。ただ、A0ポートフォリオ入試以外の入試種では根拠資料に基づいた定期的な検証ができていなかったとのことなので、他の入試種に関しても定期的にデータの分析を行う必要がある[0502c]。志願者の量的確保と入学者の質的充実を目指し、入学センターと連携した広報活動を展開している点は注目に値すると判断した[0504a][0504b][0504c][0504d]。
長所・特色	
0501	2018年度のピアレビュー報告書での指摘を受けて『求める人間像』をAPで設定し、明示媒体による記述の齟齬がないように対策が取られている。また、より適切な人材を確保するため、入学センターへの接触者に代表的なゼミや在校生の活躍、特徴的な授業などを紹介するニュースレターを年4回送付している[0504b]。
0502	併設校の中部大学第一高校からできる限り各学科の教育内容に合う生徒を推薦してもらうために、年2回の併設校懇談会を実施している[0504c]。
0503	指定校推薦の基準の見直しを積極的に進めつつある[0502b]。
0504	志願者の量的確保と入学者の質的充実を目指し、入学センターと連携した広報活動を展開している[0504a][0504b][0504c][0504d]。
留意点	
	*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0502	特技推薦、A0ポートフォリオ入試については、一部で基礎学力不足の者も見受けられるため、能力・適性等を適切に測る選抜方法の検討を継続する必要がある[0502c]。【B】
0504	A0ポートフォリオ入試以外の入試種では根拠資料に基づいた定期的な検証ができていなかったとのことなので、他の入試種に関しても定期的にデータの分析を行い、CPに従って学修できる入学者を選抜できるような体制づくりを目指すことが望まれる[0502c]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0503	f	【追加資料 12】 公認心理師適正定足数に関する資料. pdf	○
0503	g	【追加資料 13】 2018 年度心理学科第 10 回学科会議議事録. pdf	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準6	教員・教員組織
-----	---------

総評	
0602	教員組織は法令定員を満たしており、概ね適切に編制されているが、学科により多少の偏りがあり [0602a]、年齢構成、専門分野、男女比においても偏りがみられる [0602a] [0602b] [0602c] [0602d]。なお、各学科の専門性に特化した教員を配置している点は評価できる [0602d] [0602e] [0602f] [0602g] [0602h] [0602i] [0602j] [0602k] [0602m] [0602n]。
0602	大学組織における役割としては、人間力創成総合教育センターとして多くの学部所属教員が全学共通教育科目を担当している [0602m] [0602n]。
0603	教員人事関連規定は、大学の教員資格基準と人事のすすめ方に関する規定に加えて、学部独自の昇格基準申し合わせの内規を定めており [0603a] [0603b] [0603c] [0603d]、学科新設や国家資格取得のためのカリキュラム改正などに合わせて、大学の規定と学部の内規にそって適切な採用・昇格人事を進めている [0603e] [0603f] [0603g]。
0604	人文学部 FD 委員会が設置され、FD 活動が組織的かつ多面的に実施されている [0604a]。
0604	重点目標にそって活動、点検、報告がなされている [0604b] [0604c]。
0605	『教育・研究活動に関する実態資料』「魅力ある授業づくり」に基づき、個人と組織の適切性について評価ができると判断されている点について、実際に学部として自己点検・評価をどのように実施したかが、最初の根拠資料では不明であった [0605a] [0605b]。そのため、ヒアリング時に説明を求め、各学科の記録 [追加資料 16・17・18・19・20] より教員組織の適切性について確認した。
0605	『教育・研究活動に関する実態資料』をもとに計画・点検をしており [0605a]、「学生にとってのロールモデルとしての教員」という視点も加味している [0605c] [0605d] とあるが、結果に基づく改善・向上の取り組みの経緯が不明であった。そのため、ヒアリング時に説明を求め、各学科の記録 [追加資料 118・19・20] より改善向上の取り組みについて確認した。
長所・特色	
0602	英語英米文化学科では、海外での博士号取得者を含む教員による指導体制を整備している [0602e]。コミュニケーション学科では、学位課程の目的に即した教員の配置として、理論と実務の両方の分野の教員を配備している [0602f]。
0603	コミュニケーション学科では、若手を中心とした「人員補充計画」を策定している [0603e]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0602	コミュニケーション学科では、2021年度に向けた人員補充が急務である [0602c]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0602	o	【追加資料 14】公認心理師導入スケジュール. pdf	○
0602	p	【追加資料 15】心理学科新規採用人事のお願い (2019.5) . pdf	○

0603	h	【追加資料16】コミュニケーション学科2019年度学科会議議事録(6-14・4回・8-8・5回).pdf	○
0603	i	【追加資料17】コミュニケーション学科新学科案_20191114.pdf	○
0603	j	【追加資料18】コミュニケーション学科新規採用人事のお願い.pdf	○
0603	k	【追加資料19】英語英米文化学科新規採用人事のお願い.pdf	○
0603	l	【追加資料20】心理学科新規採用人事のお願い(2019.12).pdf	○
0605	h	【追加資料18】コミュニケーション学科新規採用人事のお願い.pdf	○
0605	i	【追加資料19】英語英米文化学科新規採用人事のお願い.pdf	○
0605	j	【追加資料20】心理学科新規採用人事のお願い(2019.12).pdf	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準7	学生支援
-----	------

総評

- 0702 少人数制の学生の能力に応じた修学支援を実施しており[0702c]、学部全体として副指導教授制を導入している[0702d]。
- 0702 各学科や所属教員の活動として独自の学生支援を実施しているが[0702e][0702j][0702k]、学部とそれら諸活動の関係性が不明であったため、ヒアリングにて確認した[追加資料21・22・23・24・25]。また、学部教育改革により全学部体制で運営するプロジェクト科目の導入を検討している[0702l]。
- 0702 学生の相談に応じる体制については、全学的な方針に則って実施しており[0702d][0702m][0702n][0702v][0702z][0702za]、ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動に関しては、初年次教育の一環として、セクハラ防止講演会を開催している[0702w]。
- 0702 キャリア支援に関しては、各種キャリア・プログラム、学内企業説明会、就職セミナー、就活講座、相談会、フォローアップ面談、個別面談など[0702zf][0702zi][0702zj][0702zk]に取り組んでいるが、キャリア支援課との連携や情報共有が不十分である[0702z1]。また、不就職者の抑制に向けた方策を各学科で引き続き検討する必要がある[0702zk]。
- 0702 インターンシップについては、学部共通の正課科目として「インターンシップ AB」を設置している[0702zm]。
- 0702 支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化については、全学の各担当部署に委ねており、学部としての特別な取り組みはない[0702zn]。

長所・特色

- 0702 学部全体で、指導・相談体制を強化するための副指導教授制を導入している[0702d]。
日本語日本文化学科では、入学直後に日本語のIRT診断テストを実施し、一定レベル以下の学生を対象にCoursePowerを活用して補習を実施しており[0702e]、正課外教育として、学生が主体の『J-style』という雑誌制作を支援している[0702j]。
- 0702 初年次教育「スタートアップセミナー」の一環として、セクハラ防止講演会を開催している[0702w]。
- 0702 英語英米文化学科では、卒業生や内定獲得者の話を聞く機会を設けている[0702zg]。
心理学科では、キャリア心理学の非常勤講師による就活講座・相談会・フォローアップ面談などを頻繁に実施している[0702zi]。
学部全体で、12月の卒業研究課題提出後に非常勤講師による個別面談を数回実施し「最後の1人まで進路の面倒を見る」体制を確立している[0702zj][0702zk]。

留意点

- *各項目に留意点レベルを記入
- 【A】・・・緊急の改善を要する事項
- 【B】・・・検討を要する事項

0702(5) 不就職者の抑制に向けた方策を検討することが望まれる[0702zk]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	zp	【追加資料 21】 2018 年度の学部等重点事業計画（人文学部）. pdf	○
0702	zq	【追加資料 22】 2019 年度の学部等重点事業計画（人文学部）. pdf	○
0702	zr	【追加資料 23】 2019 年度学部長裁量経費（2019. 07 主任会資料）. pdf	○
0702	zs	【追加資料 13】 2018 年度心理学科第 10 回学科会議議事録. pdf	○
0702	zt	【追加資料 24】 2019 年度心理学科第 9 回学科会議議事録. pdf	○
0702	zu	【追加資料 25】 2019 年度心理学科第 9 回学科会議資料「卒業研究の基準変更について」. pdf	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	学部の設備としては、端末室の PC 機器を共同利用・管理し、定期的に更新している [0802a][0802b][8020c]。また、マルチメディアルーム、スタジオ施設の一部機器を現状に合わせて更新している [0802e] [0802f][0802g][0802h]。
0806	教育研究等環境の適切性については、各種設備・機器等の保守状況、稼働率などを根拠資料に基づいて自己点検・評価しているとのことであったが、最初の根拠資料では内容が確認できなかったため、ヒアリング時に、新たな設備・備品に関する資料 [追加資料 26・27・28・29] 提出により確認した。
0806	情報機器を利用した教育の充実と該当教室の利用調査を実施し、更なる積極的な利用を検討している。また、マルチメディアルームとスタジオ施設の積極活用を推進している。[0806f]
長所・特色	
0802	スタジオ施設のテレビスタジオの構造や防音設備は、近隣大学の同種の設備の中ではかなり高レベルである [0802h]。
0806	端末室の有用性を調査・検討し、数年毎にまとめている [0806d][0806e]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項	
0802	2019 年度より、スタジオ設備の管理が人文学部に移ったため、今後の教育研究等環境の適切性について、学部改革の方向等とも合わせて検討する必要がある [0802g][0802h]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0806	h	【追加資料 26】人文学部メディア 3 教室統廃合について (平成 24 年 9 月 19 日) .pdf	○
0806	i	【追加資料 27】人文学部端末リプレース第 2 回検討会議覚え書き (2019. 07. 26) .pdf	○
0806	j	【追加資料 28】英語英米文化学科 MMR 利用状況.pdf	○
0806	k	【追加資料 29】英語英米文化学科 MMR 見積書.pdf	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準9	社会連携・社会貢献
-----	-----------

総評	
0902	生涯教育のオープンカレッジに開放している科目が多い [0902a] [0902b]。英語英米文化学科では、中高教員への定期セミナーを開催し、岩手県の震災復興支援国際ボランティア活動を行い、メディアに取り上げられるなどして評価を得ている [0902e] [0902f] [0902g] [0902h]。コミュニケーション学科では、OJTによるプロジェクト科目内で多くの地域貢献活動を展開し大学祭の研究発表展で成果を公表している [0902i] [0902j] [0902k] [0902l] [0902m] [0902n] [0902o] [0902p] [0902q] [0902r]。歴史地理学科では、「歴史文化大学フォーラム in 名古屋」にて社会連携・社会貢献を実施している [0902v] [追加資料 34]。ヒアリングでは、追加資料を基に各活動と学部・学科との関連性を確認した。
0903	日本語日本文化学科は、本学の日本伝統文化推進プロジェクトにて地域交流を推進している [0902y] [0902z] [0902za]。心理学科の学生をスタッフとした「学習教室きみいろ」を春日井市委託事業として行っている [0902t] [0902u]。歴史地理学科では、歴史文化資料の保存と継承に向けた災害対策の推進に貢献している [0902v]。中国文化大学外国語文学院、台湾大学文學院日本研究センターと学術交流協定を結び [0902zb] [0902zc]、活発な交流を開始している [0902zh]。ヒアリングでは、追加資料を基に各活動と学部・学科との関連性を確認した。
長所・特色	
0902	コミュニケーション学科では、プロジェクト科目内で各種地域貢献活動が可能であり各種メディアで取り上げられている [0902i] [0902j] [0902k] [0902l] [0902m] [0902n] [0902o] [0902p] [0902q] [0902r]。心理学科教員と学生による「学習教室きみいろ」が春日井市委託事業として認定されている [0902t] [0902u]。
0903	日本語日本文化学科は、日本伝統文化推進プロジェクトを共催し、大学周辺住民を中心とした地域交流を展開している [0902y] [0902z]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	zi	【追加資料 30】 英語英米文化科学学会ポスター. pdf	○
0902	zj	【追加資料 31】 2018 年度英語英米文化学科第 4 回学科会議議事録. pdf	○
0902	zk	【追加資料 32】 学生便覧 2020_コミュニケーション学科. pdf	○
0902	zl	【追加資料 33】 コミュニケーション学科紹介パンフレット. pdf	○
0902	zm	【追加資料 34】 2019 年度 歴史地理学科 第 5 回学科会議議事録. pdf	○
0902	zn	【追加資料 35】 2019 年度人文学部教授会議事録（第 1 回、4 回、5 回）. pdf	○

0902	zo	【追加資料 36】2020 年度 単位互換科目およびオープンカレッジ開講科目の依頼メール.pdf	○
0902	zp	【追加資料 37】日本語日本文化学科 HP (安田文吉氏講演会告知).pdf	○
0902	zq	【追加資料 38】日本語日本文化学科 HP (日本舞踊の伝統と革新告知).pdf	○
0902	zr	【追加資料 39】日本語日本文化学科 HP (講談と落語の世界告知).pdf	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	人文学部
--------	------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評
1120 評価は S と極めて高い。2018 年度の自己点検・評価のピアレビューでの指摘を参考に、各種委員会の規程整備や議事録作成の徹底などを進めており、改善が認められている[1120a][1120b][1120c]。学部内の主要な会議に関しては資料をデジタル化して事前に配布し、Web サーバに保存して効果的に情報共有している[1120d][1120j][1120o]。
長所・特色
1120 学部内の主要な会議に関しては資料をデジタル化して事前に配布し、Web サーバに保存して共有している[1120d][1120j][1120o]。
留意点 * 各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	u	【追加資料 40】2018 年度人文学部第 13 回教授会議事録. pdf	○
1120	v	【追加資料 41】学科会議議事録案送付メール例_日本語日本文化学科. pdf	○
1120	w	【追加資料 42】学科会議議事録承認例_英語英米文化学科. pdf	○
1120	x	【追加資料 43】学科会議議事録案送付メール例_コミュニケーション学科. pdf	○
1120	y	【追加資料 44】学科会議議事録案送付メール例_心理学科. pdf	○
1120	z	【追加資料 45】学科会議議事録案送付メール例_歴史地理学科. pdf	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管